

乳化剤「シュガーエステル」の製造能力を追加増強
～高品質な食品への世界的な旺盛な需要に対応するため、九州事業所に新ラインを追加へ～

三菱ケミカルグループ^{※1}（以下「当社グループ」）は、高品質な食品への世界的な需要に対応するため、乳化剤「シュガーエステル」について、本年3月に本格稼働予定の三菱ケミカル九州事業所の製造設備（製造能力：2,000トン/年）にさらに新ライン（1,100トン/年）を設置して製造能力を増強します。新ラインは本年1月に着工しており、稼働開始は2026年3月の予定です。



本年3月に本格稼働予定のシュガーエステルの製造設備
新系列をさらに設置（三菱ケミカル九州事業所）



シュガーエステル製品写真

シュガーエステルは、ショ糖と植物油由来の脂肪酸を主原料とした乳化剤で、水分と油分を均一に混合させる機能を有し、食品の加工や流通保管時の品質維持に役立つ製品です。飲料（缶コーヒーなど）、乳製品（ホイップクリームなど）、菓子類（ケーキやチョコレートなど）といった加工食品をはじめとした幅広い分野で使用されています。当社グループのシュガーエステルは、世界シェアの約7割を占め、優れた乳化機能に加え、さまざまな特性を持った銘柄を持っており、顧客のニーズに応じて組成や構造を最適化する技術に強みがあります。

当社グループは、国内の安定した需要と中国などの海外需要に対応するため、既存設備である東海事業所（製造能力10,000トン/年、三重県四日市市）に加え、九州事業所の製造設備を本年3月から本格稼働する予定です。また一方、今春から欧米や東南アジアでのマーケティング体制を強化する予定で各地での営業拠点設立を検討しており、またすでに食感やおいしさの向上など、顧客ニーズに応じた商品設計を開始しています。東海事業所と九州事業所のシュガーエステル製造設備は、ユダヤ教徒への安心・安全基準であるコーシャ認証、イスラム教徒へのハラール認証を取得しています。これらにより、さらに需要増加が見込まれることへの対応と、サプライチェーンの強化を図るため、九州事業所に新ラインを追加して設置します。

当社グループは、革新的なソリューションを提供するスペシャリティマテリアルグループとして、これからもシュガーエステルの展開を通じ高付加価値な製品を提供していきます。

^{※1} 三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社の総称です。

以上

お問合せ先
三菱ケミカルグループ株式会社
コーポレートコミュニケーション本部
メディアリレーション部 TEL : 03-6748-7140